

説 教

第二アドベント聖日 北浜チャーチ

黒田 禎一郎

2021年12月5日（日）

主 題：「神の国は近いと知りなさい」

－第二アドベント－

テキスト：ルカの福音書21章25～33節

目 標：「備え」の神を知り、恵みによる御国への旅路を歩む幸いを説く

### はじめに

- ・今日、私たちは第二アドベント聖日礼拝を迎えました。  
イエス・キリストの誕生であるクリスマスは、さらに近づきました。私たちは心を備えて、クリスマスに向かって進みましょう。

#### {例 話}

- ・先月、大相撲九州場所が開かれました。相撲は日本国技でもあり、多くの相撲ファンがいます。あの大きな体と体が土俵で激しくぶつかり合う相撲は、じつに圧巻です。また小柄な力士が巨漢を見事なわざで倒し、勝利する姿もこれまた圧巻です。
- ・私は昔ですが、相撲部屋を見学したことがあります。朝早くから稽古をしていた力士たちは、汗と砂（or 土）にまみれ、激しくぶつかり合っていました。何度も、何度も、上級力士から稽古を受けていた姿を思い浮かべます。もう体力の限界のところまで、彼らは稽古を重ねフラフラとなっていました。
- ・大関、横綱へと昇進することは並大抵のことではないことを知りました。彼らは稽古に稽古を積み、昇進するために稽古を重ねているのです。そして十分な稽古を積み重ね、それに持って生まれた天性もあるでしょうが、やっと相撲界のトップに進むものであることを知りました。きびしい相撲界の一面をのぞかせてもらいました。
- ・稽古なしでは決して昇進しません。十分な稽古を積むことは上に進むための必須条件です。力士の稽古は強くなるための、大切な「備え」ともいえるでしょう。
- ・皆さん。このことは私たちの人生においても大切なことを教えてくれています。準備ができてないため、ミスが起こる事が多いのです。今日、私たちが迎えた第二アドベント聖日のキャンドルは、「備え」を象徴しています。準備はあらゆる面において、重要です。
- ・神は何千年にもわたり、イスラエルの民に、メシア（救い主）が来られるこ

と告げ、準備してこられました。そして、メシアであるイエス・キリストが誕生しました。それは神の備えであり、「良き知らせ」(グット・ニュース)です。

- ・ところで本日のテキストで、イエスは終わりの時のしるしについて言われました。 **ルカの福音書**

21:10 それから、イエスは彼らに言われた。「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、

21:11 大地震があり、方々に疫病やききんが起り、恐ろしいことや天からのすさまじい前兆が現われます。

- ・これらは終わりの時のしるしです。25 節以下を読むならば、イエスが再臨される時になにが起こるかが書かれています。

21:25 そして、日と月と星には、前兆が現われ、地上では、諸国の民が、海と波が荒れどよめくために不安に陥って悩み、

21:26 人々は、その住むすべての所を襲おうとしていることを予想して、恐ろしさのあまり気を失います。天の万象が揺り動かされるからです。

21:27 そのとき、人々は、人の子が力と輝かしい栄光を帯びて雲に乗って来るのを見るのです。

- ・私たちが生きている時代は今、これらの事が起こる前の時です。イエスは、さらに言われました。

21:29 それからイエスは、人々にたとえを話された。「いちじくの木や、すべての木を見なさい。

21:30 木の芽が出ると、それを見て夏の近いことがわかります。

21:31 そのように、これらのことが起こるのを見たら、神の国は近いと知りなさい。

- ・私たちはこれらの聖句から、2 点を覚えたいと願います。

### 大切なポイント

#### 1. 神の国は近いと知りなさい

- ・聖書は、神の国(天の御国、御国)について、何度も語っています。

イエスも、神の国について何回も説教されました。 **マルコ福音書**

1:15 「時が満ち、神の国は近くなった。悔い改めて福音を信じなさい。」

しかし、ここで覚えなければならないことは、イエスご自身が神の国であることです。

- ・神の国とは、「神が王として主権を持ち統治される場所」という意味です。イエスが歩まれた所では、何が起こったのでしょうか。病人は癒され、悪霊は追い出され、不思議なわざと奇跡が起こりました。すなわち、天の御国で不要なものは、イエスのおことば一つで追い出されました。そこは神の国でした。ですからイエスの来臨は、その「神の国」実現のためと言っても、過言ではありません。
- ・メシア来臨前に、最後の預言者と呼ばれたバプテスマのヨハネが来ました。彼は、ユダヤの民がメシアに会う備えをしました。ヨハネの福音書  
1:29 その翌日、ヨハネは自分のほうにイエスが来られるのを見て言った  
「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。  
1:30 私が『私のあとから来る人がある。その方は私にまさる方である。私より先におられたからだ。』と言ったのは、この方のことです。
- ・ところで、福音書著者であるルカは終わりの時に、イエスが再び来られると記録しています。その時、すべての精算が行われます。多分、あなたはりっぱな方でしょう。一生懸命、仕事もしておられるでしょう。貯蓄し、家も建てられたかも知れません。それに子どもも、立派に育ててこられたかも知れません。
- ・しかしイエスは、「この天地は滅びます。しかし、わたしのことばは決して滅びることはありません。」(21:33)と言われました。永遠につづくものではないと教えています。人はだれでも死を迎えるなら、お金も家も何も持っていくことはできません。
- ・では、いったい何のための仕事でしょうか。人生のゴールは、どこにあるのでしょうか。人生は一度だけで、繰り返しはできません。であるならば、あなたは人生のゴールを知りたいと思われませんか？ この世は創造神から離れ、悪に満ちています。
- ・しかし感謝なことに、ここに暗闇を照らす真の光があります。  
⇒ イエス・キリスト  
あなたは、人生で真の光を必要としているのです。イエスは「私は世界の光です。」と言われました。世界を照らす真の光であるイエスの誕生、それがクリスマスです。そのイエスは、もう一度来臨されると聖書は約束しています。その時は、悪を裁かれる裁き主として来られます。神の国を実現されるのです。
- ・「神の国は近い」ということは、「イエス来臨の日」(裁きの時)が近いということです。私たちは、いったいどんな備えをしているのでしょうか。
- ・イエスは言われました。

21:29 それからイエスは、人々にたとえを話された。「いちじくの木や、すべての木を見なさい。

21:30 木の芽が出ると、それを見て夏の近いことがわかります。

21:31 そのように、これらのことが起こるのを見たら、神の国は近いと知りなさい。

## 2. 人生の備えをしなさい

- 皆さん。少しの時間、心を静ませてみようではありませんか。預言者イザヤやバプテスマのヨハネは、来られるべきお方メシアを前にして語りました。メシア誕生の道を備えました。そして来臨されたイエスも、天の御国への道を備えてくださいました。神は備えの神です。
- ではなぜ、神は「備えの神」と言えるのでしょうか。

### 1) 神の本性は愛であるからです

- 聖書の神は愛であるお方です。愛である神は、私たちに救いを願っておられます。ご存知でしょうか。イエスの誕生は、旧約聖書を通して預言され、備えられてきました。

#### (1) **メシアの誕生**      **イザヤ書**

9:6 ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。

⇒ **成就**      **マタイの福音書 1章**

1:21 マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」

1:22 このすべての出来事は、主が預言者を通して言われた事が成就するためであった。

1:23 「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」（訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。）

#### (2) **出生地の預言**      **ミカ書**

5:2 ベツレヘム・エフラテよ。あなたはユダの氏族の中で最も小さいものだが、あなたのうちから、わたしのために、イスラエルの支配者になる者が出る。その出ることは、昔から、永遠の昔からの定めである。

⇒ **成就**      **マタイ 2章**

- 2:4 そこで、王は、民の祭司長たち、学者たちをみな集めて、キリストはどこで生まれるのかと問いただした。
- 2:5 彼らは王に言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者によってこう書かれているからです。」
- 2:6 『ユダの地、ベツレヘム。あなたはユダを治める者たちの中で、決して一番小さくはない。わたしの民イスラエルを治める支配者が、あなたから出るのだから。』」

### (3) 他の預言

- ・このようにメシア預言がなされ、そしてそれが成就しました。  
聖書には他にも、メシア預言がります。(時間があればお読みください)
- 「死の目的」 イザヤ 53 : 4 ~ 6 ⇒ 2 コリント 5 : 2 1  
1 ペテロ 2 : 2 4
- 「十字架」 詩篇 22 篇 ⇒ マルコ 15 : 3 4  
マタイ 27 : 3 5 ~ 5 0
- 「復活」 詩篇 16 : 1 0 ~ 1 1 ⇒ マタイ 28 : 1 ~ 6  
マルコ 16 : 6
- ・聖書を読み進んでいきますと、神は「備えの神」であることがわかります。なぜ、備えの神でしょうか。  
⇒ 神の本性は愛であるからです。
- ・神は、私たちが神を知り、神を信じることを願っておられます。  
⇒ 互いにし信じ合う信頼関係です。
- ・では、神の国はどこにあるのでしょうか。イエスは言われました。  
17:20 さて、神の国はいつ来るのか、とパリサイ人たちに尋ねられたとき、イエスは答えて言われた。「神の国は、人の目で認められるようにして来るものではありません。  
17:21 『そら、ここにある。』とか、『あそこにある。』とか言えるようなものではありません。いいですか。神の国は、あなたがたのただ中にあるのです。」
- ・聖書の神は、信じる者の内にお住みくださるお方です。では、内にお住みくださる神とはどんなお方でしょうか。

## 2) 備えの神はどんなお方か

### ① 慰めを与えるお方

神は、どのような苦しみのときにも、私たちに慰めてくださいます。こうして、私たちも、自分自身が神から受ける慰めによつ

て、どのような苦しみの中にいる人をも慰めることができるの  
です。  
2コリント1:4

## ② 励ましを与えるお方

わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません。  
ヨハネ14:27

## ③ 道を示すお方

あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。

詩篇 119:105

- ・神は助け主である聖霊によって、みことばを通し語られることが多くあります。愛の神がそのように働いてくださるのは ⇒ 私たちが正しく歩むために、神の国への道を備えてくださるためです。

聖書：ヨハネ5：39

あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思うので、聖書を調べています。その聖書が、わたしについて証言しているのです。

- ・いかがでしょうか。私たちはこの神を心から信頼し、神の国へ向かう備えをしようではありませんか。

## まとめ

主 題：「神の国は近いと知りなさい」

—第二アドベント—

- ・今日、私たちが迎えた第二アドベント聖日のキャンドルは、「備え」を象徴しています。準備は、あらゆる面において重要です。私たちは人生において、どんな「備え」をしているのでしょうか。生きるための生活の「備え」をすることは大切なことです。
- ・しかしもっと重要なことは、神の国への「備え」であります。では、どうすればよいのでしょうか。
  1. 神（本性）は愛であると信頼する
  2. 神の約束（聖書）を信頼する

\* God bless you!